

2026及び2027年度大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点
(スマートエネルギー棟)に係るオープンスペースの運営業務公募型プロポーザル審査
基準兼配点表
【書類審査基準】

No.	評価項目・配点					
1	業務実績：類似事業の実績数					10点
	9～10件	7～8件	5～6件	4件以下	100人以上が使用するスペースでの実績がある場合、2点追加	
	8点	6点	4点	2点	+2点	
2	過去の実績から、本件の仕様書の趣旨に沿った提案を期待できるか。					20点
	極めて良好	良好	普通	やや不十分	不十分	
	20点	15点	10点	7点	3点	
合計						30点

選定方法

- 書類審査は、資格審査通過者が4者を超えた（5者以上）場合に実施する。
- 合計得点が高い上位4者のみが、プレゼンテーションへの参加要件を満たす。
- 上記2において合計得点と同じ場合は、評価項目「過去の実績から、本件の仕様書の趣旨に沿った提案を期待できるか。」の得点が高い者を選定する。
- 上記3において得点と同じ場合は、くじにて決定する。

2026及び2027年度大阪公立大学イノベーションアカデミー共創研究拠点
 (スマートエネルギー棟)に係るオープンスペースの運営業務公募型プロポーザル審査
 基準兼配点表
 【プレゼンテーション審査基準】

No.	評価項目	細目	配点 (満点)
1	業務実績	(1) 同種又は類義業務の実績があり、ノウハウを活かすことが期待できるか。	5点
2	業務実施体制	(1) 本業務を確実に実施できる体制となっているか。	5点
3	企画力、実現性に関すること	(1) 企業との共創やスタートアップ創出を促進するリビングラボ機能や、総合知を核に学内外の人が自由に交流する共創拠点などのスマートエネルギー棟が備える機能を理解し、仕様書に沿った企画提案となっているか。 (2) 企画提案のコンセプト、企画提案でアピールしたいことが明確であり効果的な内容となっているか。 (3) 企画の実現性が明確となっているか。	15点
4	施設運営	(1) 施設運営担当の役割が理解できているか。 (2) 入場管理、受付・案内業務、備品貸出業務等の施設運営方法は効率的で適切か。 (3) 人の交流を促すための具体的な手法が提案されているか。 (4) 利用者向けコミュニケーションツールが提案されているか。	15点
5	イベントの運営、企画	(1) イベント運営方法は効率的な内容となっているか。 (2) 運営受託業者が企画するイベントは、共創に向けた仕掛けができているか。またその実現に向けた説得力があるか。	10点
6	状況把握、効果測定	(1) 施設の運営状況、とりまとめ、報告など、大学と円滑な情報共有が可能な方法となっているか。	10点
7	広報、情報発信	(1) 本施設での取り組みを学内・学外へ十分にPRできる内容となっているか。	10点

8	参考見積額に関すること	(1) 予算範囲内で最大の効果が得られる提案であるか。 (2) 提案内容と費用のバランスが取れているか。	10点
9	独自性	(1) 提案内容に提案者の独自性が盛り込まれているか。 また、特別考慮できるような加点要素があるか。 (2) 仕様書にない項目で、特に評価すべき創意、工夫が見られるか。	10点
10	プレゼンテーション	(1) 本業務に対する強い意欲が見られるか。 (2) 提案内容を分かりやすく説明しているか。 (3) 知識・経験に裏付けられた説得力があるか。 (4) 今後の調整において必要な対話力を有しているか。	10点
合計			100点

※本学が定める一定基準（配点合計点の6割）を満たさないと委員会（受託者選定委員会）で判断した企画提案参加者は失格とする。いずれの提案も一定基準（配点合計点の6割）を満たさない場合、再度募集を行うものとする。